

八王子 水のまちニュース

第19号
令和4年2月

八王子市水循環部
水環境整備課
042-620-7291（直通）
042-626-3019（FAX）

船森公園に水辺が整備されます

子安神社の湧水はかつて「大明神の池」と呼ばれ、その豊富な水量から、昭和初期には船遊びをする人たちでにぎわうなど、人々の憩いの場として大切にされてきました。

市では、京王八王子駅西側の船森公園に、その子安神社の湧水を活かした水辺を令和4年3月完成予定で整備しています。市民の皆様がまちなかで水辺に親しめる空間として、ぜひ足を運んでみてください。

【完成イメージ図】



まちの話題

叶谷榎池の「叶谷榎池水護り隊」の活動

「水辺の水護り制度」は、地域の方々や学校・事業者の方などが行う、身近な水辺の保全や調査活動に対し、市が用具の貸与などの支援をするものです。

今回は「水辺の水護り制度」に登録いただいている「叶谷榎池水護り隊」の尾澤賢一さんにお話を伺いました。尾澤さんは「八王子湧水めぐりマップ」や「東京の名湧水 57 選」にも選ばれている叶谷榎池の美化活動をされています。

私は、50 年ほど前に叶谷榎池の近所に引っ越して来て、5 年前から池の美化活動を始めました。「水辺の水護り制度」には、近隣の方と一緒に令和 2 年に加入しました。

叶谷榎池での思い出は、池の水でスイカを冷やしたことや洗い物をしている情景です。池にはサンショウウオやサワガニがいて、昔はもっと大きな池でした。活動は、きれいな池での思い出から自主的にやろうと思いました。



最近、叶谷榎池が「八王子湧水めぐりマップ」に載ったことで、幼稚園児や多くの人々が訪れるようになりました。池にはザリガニが多く、カワセミやサギ、カモも飛来します。池の水温は、年間を通して 10℃ 程度。活動の頻度は週 2 回程度で、藻の多い時期は毎日活動をしています。榎の木の子虫食いや皮が剥がれてきて元気が無いことが心配です。大変なことは、すぐに生えてくる藻の除去です。また、ごみを捨てる人がいることも活動での苦勞になっています。しか

し、池に訪れる方々との会話などのコミュニケーションがやりがいになっています。

今後は、子どもたちが水に親しめる環境となって蛭が復活すること、外来種が無くなることを望んでいます。



叶谷榎池水護り隊の日々の活動が、叶谷榎池の水辺環境の維持につながっています。市としては、市民協働の一つの形として、今後も「水辺の水護り制度」を推進していきます。登録は随時受け付けておりますので、ぜひ本制度をご活用ください。詳しいお問い合わせは水環境整備課まで。（水環境整備課 [TEL:042-620-7291](tel:042-620-7291)）

【主な活動の例：清掃活動、環境学習・自然体験学習、水質調査や水生生物調査など】

イベント情報

春の湧水散策 真覚寺～片倉城跡公園の湧水を巡る

【実施日】 令和4年3月13日（日）午前9時～12時30分頃

【募集期間】 令和4年2月1日（火）～2月10日（木）（必着）

【募集人数】 20名程度（抽選）

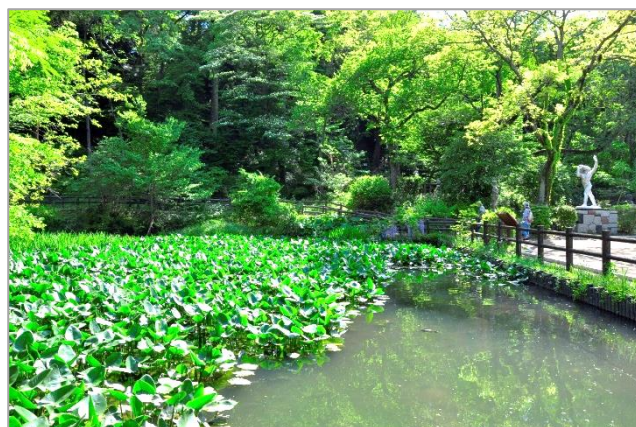
【コース】 しんかくじ こうおんじ ちょうけいじ しんしゅうじ べんてんいけ かたくらじょうせきこうえん
真覚寺～廣園寺～長慶寺～斟珠寺弁天池～片倉城跡公園（予定）

※詳しくは広報2月1日号をご覧ください。

～見どころ～ 今回の湧水散策では、市内の湧水はもちろんのこと、歴史・文化にも触れながら、市民の皆様には水辺空間の魅力をお伝えします。どうぞご参加ください。

★片倉城跡公園の湧水

室町時代に築城された「片倉城」の城跡であるこの公園では、崖下の数か所で湧水が出ていて、池や沼、菖蒲田を潤しています。「東京の名湧水57選」にも選定されています。



片倉城跡公園

「第11回あさかわ写真コンクール」開催予定です

「あさかわ写真コンクール」について、本年は開催予定です。一昨年と同様にテーマは「しぜん・ひと・まち」です。他のコンクール等に応募していない未発表の作品であれば、令和4年以前に撮影された写真も大歓迎です。浅川の魅力あふれる作品のご応募をお待ちしております。なお、今回より、横位置の写真でご応募ください。

【募集期間】 令和4年7月1日（金）～9月2日（金）（予定）

【対象範囲】 浅川（北浅川）、南浅川

「第10回あさかわ写真コンクール」入選作品（一般の部）



【最優秀賞】「晩秋」 中西 隆さん



【八王子市長賞】「帰り路」 森 真一さん

アクア 802 ぜひ観てください！

市役所本庁舎1階ロビーにて、浅川のいきものを通年展示している水槽（通称：アクア 802）があります。これは、高度経済成長期以降、人口増加や都市化により悪化した河川水質が、市民の皆さまの生活排水対策や公共下水道の整備により改善し、清流の復活とともに、水辺のいきものたちが

戻ってきたことを紹介しているものです。現在水槽には 26 種類のいきものがありますが、常に砂利に潜っている魚や木の間に隠れている虫など普段なかなか見えない種類もあります。市役所にお越しになった際には、ぜひともご覧になって、種類を数えたり、泳いでいる姿を観察してみたりしてください。



水辺の生きもの

～サワガニ～

「川のカニ」と聞いて、何を思い浮かべるでしょうか？ 多くの方々が真っ先に思い浮かべるのは、サワガニでしょう。名前の示す通り、きれいな水が流れる沢にはもちろんいますが、ある程度水が澄んでいれば、住宅街の小川にもいます。条件は海水が含まれていない流域であること。水が澄んでいること。浅く、流れが淀んでいないこと。岩が多く、川底が主に石と礫で構成されていること。川幅が狭いこと等々。サワガニの特徴は、生まれてからその生涯を閉じるまでの一生を淡水で過ごすことです。川に生息するカニは、ほとんどの種類が幼生の時期を海で過ごすことから、サワガニは大変珍しい生態をしています。



～編集だより～ 昨年度中止となったイベントの湧水散策ですが、本年は開催予定です。先日下見に行きましたが、立派なお寺の境内や弁天池など、見どころ満載です。また、かなりのアップダウンがあり、普段運動不足の私にとって、いい運動になりました。春の暖かな日のもと、八王子市の歴史や文化に触れる一時を過ごしてみたいかがでしょうか。